



—古井さんがカレンダー制作に携わったのは、いつからですか？

古井 (写真左) :ここに着任した昨年からです。写真とデザインを担当しています。カレンダー制作は2005年から始めて、その時々のみちセン所長が担当してきました。私はあまりデジタルカメラを使ったことがなかったので、初心者向けの写真の本などで慌てて勉強しました。

赤塚 (写真右) :今演出家の方とハレバレシャシんとで、市電のDVDを制作しているの、日々撮影スポットを探しています。今年のカレンダーの中にも、気になる撮影スポットがいくつかあって……3月、4月の桜の写真はどこで撮影されたんですか？

古井 :それは南11条西6、7丁目です。前の年のカレンダーに同じ場所で撮影した写真が掲載されていて、春らしさの出る場所がここしかなかったの、真似しました。前年と同じアングルはこれだけです。昨年の5月から7月にかけては、

土日にこの地区に通いつめて撮影していたので、町内の方にたくさん声をかけられました。「カレンダーの写真を撮っているんでしょ？」って。毎年のことだから、皆さんわかっているんでしょね。

赤塚 :私、この逃げ水が写っている写真(赤塚さんが持っているカレンダーのページ)が好きです。写真の下の「逃げ水現る」という言葉もいいですね。

古井 :その言葉も自分で考えています。私が気に入っているのは、南7条西6、7丁目をビルの屋上から撮影した写真(古井さんが持っているカレンダーのページ)。レールが曲がっているのがよくわかるでしょう？これ、昔の道路計画が関係あるみたいですよ。実は高所恐怖症気味なんですけど、怖いのを我慢して頑張って撮影しました(笑)。

—写真の選定もご自身で？

古井 :自分だけで選ぶと偏ってしまうから、家族やまちセンの職員にも見てもらいました。全部で100枚くらい撮ったので、

市電への愛や、思い出を語って頂くこのコーナー。第4回は西創成まちづくりセンター所長の古井浩二さんと、ハレバレシャシン新人フォトグラファーの赤塚愛実さんです。2011年度の『西創成地区再発見市電のおるまち』カレンダーを眺めながら、「市電撮影スポット」について話はずみ……

『西創成地区再発見市電のおるまち』カレンダー



選ぶのが大変でした。

赤塚 :写真って、カメラのファインダーとパソコンの画面で見るとでも違うし、印刷されるとまた印象が違いますよね。そこでいろいろ発見があります。

古井 :そうですね。完成してから、「こんなによく撮れていたんだ」ってびっくりしました。

—撮影しているときに、意識したことはありますか？

古井 :電車だけではなく、地域の中に電車が走っていることを意識しないと、西創成地区のカレンダーにはならないと思っていました。「市電の通る地域」であることに対して、皆さんの思い入れがありますから。市電もそうですが、やっぱり電車が走る風景っていいですよね。子どもの頃に住んでいた田舎は、JRも単線。夏祭りの夕暮れ時の提灯や屋台の明かりと、電車内からあふれ出る光が、とても記憶に残っています。

赤塚 :私は初めて市電に乗ったときに、街中を走っていくことが新鮮でした。すぐ横には車が走っていて、その横にはお店があって人が歩いていて。JRとは違う街との距離感が、いいなと思いました。札幌に来て間もない頃だったので、街中を探検しているような気持ちになったのを覚えています。

—来年度のカレンダー制作に向けて、意欲などお願いします。

古井 :自分たちの地域に対する小さな発見があるような写真を撮ること、この地域にとけ込んでいる市電を、よりよく撮影できるといいなと。どこかいい撮影スポットがあったら、教



えてもらえるとうれしいです。

赤塚 :東本願寺付近に、道路に起伏のある場所があるんです。そこを走る市電を地面すれすれのところから撮影すると、面白い写真になりそうですね。それと、私は市電の中でM101という古いデザインのもの好きなので、ぜひ2012年度のカレンダーには掲載してほしいです。

古井 :じゃあ、もしM101をうまく撮影することができたら、写真の下には「赤塚さんに捧げる」って書きますよ(笑)。

赤塚 :本当ですか？来年度のカレンダーは絶対もらいに行きます！

ハレバレシャシン <http://harebare.co.jp/>
mail: tram@harebare.co.jp

西創成まちづくりセンター
札幌市中央区南5条西7丁目 / TEL 011-521-2384 / 8:45-17:15

市電♥特別編 今年の冬は、5年目を迎えるイルミネーション電車に加えて、雪ミク電車もお目見え！

イルミネーション電車

→1月15日(土)から約1ヶ月間、一両のみ運行。藻岩山の本々をイメージしたイルミネーションデザインで、夜の街並を光り輝きながら走った。



←市電の会の皆さんと一緒に、約20名で内外装の取り付け作業を実施。内装は、市内学生ボランティアによる、「こんべいとう」に見立てた優しい色合いのデザイン。

雪ミク電車



←札幌発のバーチャルアイドル「初音ミク」の冬バージョン「雪ミク」一色になった市電車内。3月26日(土)までの限定一両運行だったので、遭遇できた人はラッキー？

→2月11日(金)に開催された出発セレモニーには、「初音ミク」の声を担当している声優の藤田咲さんも参加。なんと雪ミク電車内には、藤田さんの直筆サインも。

